

かとうぜきかいらんぼん 可動堰回覧板

平成19年4月1日号 (No.21)
国土交通省北陸地方整備局
信濃川河川事務所大河津出張所
TEL 0256-97-2121
E-mail shinano@hrr.mlit.go.jp

回覧

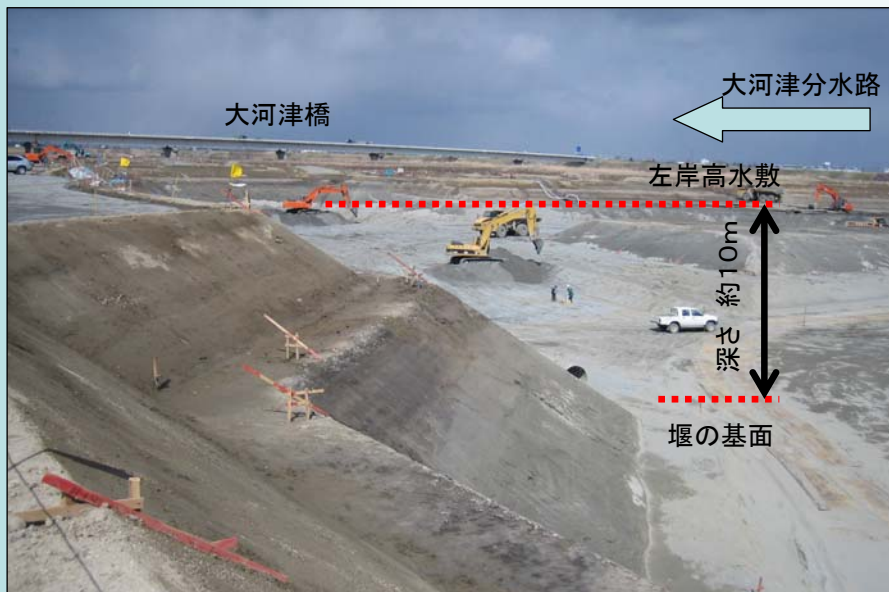
3月に入って急に寒くなりましたが、現場は順調に進んでいます。
桜のつぼみもこの寒さにちょっとびっくりしているかもしれませんね。

現在の工事状況について

先月号でご紹介しましたように、左岸側で行われている管理橋下部工（橋台1基、橋脚2基）が完成しました。左岸堤防からもその姿を見ることが出来ます。

堰本体工事では、引き続き土砂掘削工を進めており、基礎杭を施工するための基面まで到達しました。現在は左岸側高水敷よりも約10m掘り下げられた状態で、建物にすると3階以上の高さになります。土砂掘削は全体を一度に掘削するのではなく、全体の3分の1ずつを堰柱本体の進み具合にあわせて掘削していきます。

鋼矢板による仮締切工も完了間近です。矢板と矢板の間に土砂を詰め、洪水が来ても壊れない丈夫な壁を作ります。堰本体工事はこの仮締切工で囲まれた中で行われています。



写真左

左岸側高水敷から下流（大河津橋方面）を見た現場の状況（平成19年3月撮影）

写真中央に写っているのが人です。人と比べると工事現場の規模の大きさが分かるのではないのでしょうか。今後、堰本体の基礎杭施工を行っていきます。

写真右

仮締切工から下流（大河津橋を望む）を見た現場の状況（平成19年3月撮影）

茶色のものは鋼製の矢板で、間に土砂を詰めていきます。矢板同士をつないでいるのは、詰めた土砂で矢板がふくらまないようにする鋼製の棒です。



桜の剪定ボランティアについて

3月10(土)に桜の不要枝木の剪定作業が「分水さくらを守る会」により大河津分水路堤防などで行われました。「分水さくらを守る会」のみなさんは、大河津分水路堤防や分水公園の清掃などをボランティアで実施されており、活動の一環として、分水さくらまつり開催前のこの時期に剪定作業を実施しています。

当日は、ボランティアのみなさん約100名が大河津資料館前に集合し、前日までの雪が残り寒風吹きすさぶなか、大河津分水路堤防及び分水駅周辺の桜の不要枝の剪定作業に汗を流しました。剪定により今年のさくらまつりでも見事な桜を咲かせてくれるものと思います。



資料館前に集まったボランティアの皆さん



剪定作業の様子

さけの稚魚を放流

3月15日(金)に燕市立吉田北小学校の児童の皆さんが、大河津分水公園内のせせらぎ水路でさけの稚魚の放流を行いました。4年後には大きくなって信濃川をのぼって来ることをお願いしながら児童一人一人が放流しました。



元気に泳ぐさけの稚魚



稚魚を放流する児童たち

『可動堰なんでも電話』を開設し、みなさんからのご意見・ご質問などをお待ちしております。
0258-32-3134 (平日 AM9:00~PM4:00)

工事や河川に関することはなんでも大河津出張所へ Tel 0256-97-2121(建設監督官在所)
大河津出張所 :大河津分水全般に関する工事監督・維持管理等
建設監督官(可動堰改築担当):大河津可動堰改築事業に関する工事監督等

信濃川河川事務所
<http://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/>

可動堰情報館
<http://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/kadouzeki/>

信濃川大河津資料館
<http://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/ohkouzu/index.html>